

平成29年度の学校評価

1 重点目標等

本年度の重点目標		<p>1 生徒のキャリア形成の方向性と関連づけながら、指導方法の改善に取り組む。 (主体的な学び、対話的な学び、深い学びの視点をもった授業改善)</p> <p>2 生徒の特性を的確に把握し、生徒一人ひとりに寄り添った教育を実施する。 (個人面談の充実と自己有用感を高める教育の実施)</p>	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
規範意識、 人権感覚の 向上	碧南高校生としての 誇りを喚起し、規範意 識・人権感覚を高める 教育を行う。	<p>ア 広報活動の充実(HP、リーフレット、 碧高ニュース)</p> <p>イ 挨拶を励行(正門指導、授業等)</p> <p>ウ 人権講話、人権LTの実施</p> <p>エ いじめの未然防止に係る取組の充実・ いじめの早期発見及び適切な対応</p>	<p>ア より早く、よりわかりやすく更新、 作成する。</p> <p>イ 全校体制で行う。</p> <p>ウ 多面的、実践的な内容を計画する。</p> <p>エ 学校いじめ防止対策組織の役割を 生徒や保護者に周知する。学校生活 アンケートや個人面談を活用する。</p>
授業改善の 推進	全ての教科・科目に おいて新たな授業改善 を図り、生徒の一層の 学力向上に努める。	<p>ア 身に付けさせたい力と評価方法の明確 化</p> <p>イ 月間目標等、短期・長期の到達目標の 作成</p> <p>ウ 全ての教科・科目で、生徒が「どのよ うに学ぶか」を意識した授業を計画</p> <p>エ 研究授業の充実</p> <p>オ 学習時間調査の実施</p> <p>カ 現職研修において、授業改善に関する 講話の実施</p>	<p>ア 単元の目標を踏まえ、授業計画を 教科内で検討する。</p> <p>イ 生徒へ提示して目標を可視化す る。</p> <p>ウ 主体的な学び、対話的な学び、深 い学びの視点をもった授業を行う。</p> <p>エ 新しい指導方法・評価についての 研究授業を実施する。</p> <p>オ 随時、調査を行う。</p> <p>カ 先進的な取組をしている大学教授 等に依頼する。</p>
キャリア教 育の推進	生徒一人ひとりの進 路実現を図るために、 三年間を見通した学習 指導並びにキャリア教 育を確立する。	<p>ア キャリア教育の年間指導計画の実践(普 通科：総合的学習の時間)</p> <p>イ オープンキャンパスやインターンシ ップへの積極的な参加</p> <p>ウ 各種進路ガイダンス実施による生徒の 職業観の形成</p> <p>エ 個人面談を通じた、全校的な進路意識 の向上</p>	<p>ア 年間指導計画を遵守し、主体的・ 対話的な取組とする。</p> <p>イ 説明会を学科、HRで実施する。</p> <p>ウ 学部学科説明会、大学模擬授業を 各学年で実施する。</p> <p>エ 面接週間に加え、随時個人面談を 実施する。</p>
学校行事、 部活動等の 充実	豊かな人格形成を目 指し、学校行事、部活 動等の一層の充実を図 る。	<p>ア 生徒主体の学校行事運営の実施</p> <p>イ 清掃活動の充実</p> <p>ウ 個人面談に重きをおいた進路指導の実 施</p> <p>エ 部員会及び部長会、受納式の積極的な 活用</p> <p>オ 中学校と連携した部活動</p> <p>カ 部活動状況の積極的な広報</p> <p>キ 個人面談を通じた部活動相談</p>	<p>ア 生徒会組織が効果的に機能できる ようにする。</p> <p>イ 協力的、主体的に取り組ませる。</p> <p>ウ キャリア教育の視点から行事、部 活動等を認識させる。</p> <p>エ できる喜び、勝つ楽しさ、仲間と の協力を伝える。</p> <p>オ 中高合同での活動ができるような 態勢を整える。</p> <p>カ 校内外に伝える。</p> <p>キ 顧問と担任が連携して活動状況を 把握する。</p>
開かれた学 校づくり	地域とのかかわりを 積極的に進め、地域に 信頼される学校づくり を図る。	<p>ア 広報活動の充実(HP、リーフレット、 碧高ニュース)</p> <p>イ PTA活動の活発化(交通安全指導、巡回、 ハンギングバスケットづくりなど)</p> <p>ウ 交通安全指導によるマナー向上</p> <p>エ ボランティア活動への積極的参加</p> <p>オ 商工会議所、ハローワーク、各業種組 合との密な連携</p> <p>カ Kプロジェクトの継続及び拡大、出前授 業の実施による総合ビジネス科の周知</p>	<p>ア より早く、よりわかりやすく更新、 作成する。</p> <p>イ 行事の時期や内容に改善を加えて いく。</p> <p>ウ 警察署との連携を図る。</p> <p>エ 碧南市、中央地区等との連携を図 る。</p> <p>オ よく訪問して実情を伝える。</p> <p>カ 内容の精選、事前事後の指導の徹 底を図る。</p>
笑顔溢れる 学校づくり	生徒・教員が笑顔で 活動できるように業務 改善を図る。	<p>ア 長時間勤務の是正</p> <p>イ 不祥事防止</p>	<p>アイ 教員の多忙化解消プラン、不祥 事防止ガイドライン等の周知・理 解に努める。</p>
学校関係者評価を実施する主な評価 項目		<p>1 規範意識、人権感覚の向上</p> <p>2 授業改善の推進</p> <p>3 キャリア教育の推進</p> <p>4 学校行事、部活動等の充実</p> <p>5 開かれた学校づくり</p> <p>6 笑顔溢れる学校づくり</p>	

## 2 評価結果

### ア 自己評価結果

本年度の重点目標		<p>1 生徒のキャリア形成の方向性と関連づけながら、指導方法の改善に取り組む。 (主体的な学び、対話的な学び、深い学びの視点をもった授業改善)</p> <p>2 生徒の特性を的確に把握し、生徒一人ひとりに寄り添った教育を実施する。 (個人面談の充実と自己有用感を高める教育の実施)</p>	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
規範意識、 人権感覚の 向上	碧南高校生としての誇りを喚起し、規範意識・人権感覚を高める教育を行う。	<p>ア 広報活動の充実(HP、リーフレット、碧高ニュース)</p> <p>イ 挨拶を励行(正門指導、授業等)</p> <p>ウ 人権講話、人権LTの実施</p> <p>エ いじめの未然防止に係る取組の充実・いじめの早期発見及び適切な対応</p>	<p>ア 部活動結果のHP掲載で、碧高生の代表としての意識が高まった。更新頻度を上げることが課題。</p> <p>イ 挨拶は十分であるとはいえない。</p> <p>ウ 人権を考えさせる機会が少ない。</p> <p>エ アンケートにより未然防止、早期発見を実現できている。また、事案発生の際には組織的な対応を行うことができた。今後はこの体制を充実させたい。また、情報モラルの現職研修は教員にとって大きな成果があった。</p>
授業改善の 推進	全ての教科・科目において新たな授業改善を図り、生徒の一層の学力向上に努める。	<p>ア 身に付けさせたい力と評価方法の明確化</p> <p>イ 月間目標等、短期・長期の到達目標の作成</p> <p>ウ 全ての教科・科目で、生徒が「どのように学ぶか」を意識した授業を計画</p> <p>エ 研究授業の充実</p> <p>オ 学習時間調査の実施</p> <p>カ 現職研修において、授業改善に関する講話の実施</p>	<p>ア 各教科で教科指導のねらいは明確にしたが、学年ごとの身に付けさせたい力についての共通理解は十分ではない。</p> <p>イ 考査の機会を利用して計画的に学習に取り組ませることができた。</p> <p>ウ 法定研修参加者、AL研究指定校担当者の取組で授業改善への雰囲気は高まってきた。</p> <p>エ AL型の研究授業が増えるなど、実施できた研究授業の質は高まってきた。</p> <p>オ 日々の学習時間の記録を多くの先生が生徒に取らせている。また、第1学年が使用している手帳型教材も効果的に機能している。</p> <p>カ 来年度への継続課題。各教科により状況が異なるので、授業改善という点だけでは難しい。カリキュラム・マネジメントの視点からの研修で、実際に本校生徒のあるべき姿からカリキュラムを考え作成するような研修がいいのではないか。</p>
キャリア教育の 推進	生徒一人ひとりの進路実現を図るために、三年間を見通した学習指導並びにキャリア教育を確立する。	<p>ア キャリア教育の年間指導計画の実践(普通科:総合的学習の時間)</p> <p>イ オープンキャンパスやインターンシップへの積極的な参加</p> <p>ウ 各種進路ガイダンス実施による生徒の職業観の形成</p> <p>エ 個人面談を通じた、全校的な進路意識の向上</p>	<p>ア 第1学年には自作の教材を使い、効果的な取組となっている。第2学年以降の取組をさらに効果的なものにできないか。</p> <p>イ オープンキャンパスの事後指導(クラス、学年発表)が効果的であった。商業科のインターンシップの参加者も増加し、職業観の育成につながっている。普通科への広がり課題である。</p> <p>ウ 商業科・総合ビジネス科生徒の職業観の形成には有効である。</p> <p>エ 進路意識の低い生徒の意識向上への効果はある。ただし、全校的な進路意識の向上につながっているかはわからない。</p>
学校行事、 部活動等の 充実	豊かな人格形成を目指し、学校行事、部活動等の一層の充実を図る。	<p>ア 生徒主体の学校行事運営の実施</p> <p>イ 清掃活動の充実</p> <p>ウ 個人面談に重きをおいた進路指導の実施</p>	<p>ア 大変良好であり、この状態を維持する。</p> <p>イ 十分でないところがあり、全員清掃、ゴミの分別を徹底させる必要がある。</p> <p>ウ 個人面談では、進路の話題だけではなく生き方の相談もすること</p>

		<p>エ 部員会及び部長会、受納式の積極的な活用</p> <p>オ 中学校と連携した部活動</p> <p>カ 部活動状況の積極的な広報</p> <p>キ 個人面談を通じた部活動相談</p>	<p>ができています。手帳型教材を有効活用できた学年もある。</p> <p>エ 活動時間の遵守の徹底が不十分である。</p> <p>オ 合同練習会を実施する部活動が増えた。</p> <p>カ 碧高ニュースやPTAだよりにより広報できているものの、HPを利用したスピード感のある広報をしていく必要がある。</p> <p>キ 必要に応じて実施されている。</p>
開かれた学校づくり	地域とのかかわりを積極的に進め、地域に信頼される学校づくりを図る。	<p>ア 広報活動の充実（HP、リーフレット、碧高ニュース）</p> <p>イ PTA活動の活発化（交通安全指導、巡回、ハンギングバスケットづくりなど）</p> <p>ウ 交通安全指導によるマナー向上</p> <p>エ ボランティア活動への積極的参加</p> <p>オ 商工会議所、ハローワーク、各業種組合との密な連携</p> <p>カ Kプロジェクトの継続及び拡大、出前授業の実施による総合ビジネス科の周知</p>	<p>ア 定期的にHP更新・碧高ニュース発行がなされている。今後は更に多くの部活動状況等をHPに掲載・更新していく。</p> <p>イ 多くの保護者が参加し、地域の人々の目に留まる活動となっている。今後は定期的にHPで活動報告することにより、更なる活性化を目指していく。</p> <p>ウ 学校から離れたところでは、「ながらスマホ」をする生徒が約10%存在する。この割合は学年が上がるとなると更に上昇する傾向があり、自分だけには被害に遭わない、加害もしないという意識が現れるのではないかと。継続して啓発に努める必要がある。</p> <p>エ ボランティア部が地域のトイレ清掃、公園掃除を実施した。また、地域イベントにも積極的に参加している。</p> <p>オ 地域イベントには商業科・総合ビジネス科がボランティアとして活動している。</p> <p>カ Kプロジェクトは生徒の自主性を育む良い機会となっている。出前授業で中学校への総合ビジネス科のPRができた。</p>
笑顔溢れる学校づくり	生徒・教員が笑顔で活動できるように業務改善を図る。	<p>ア 長時間勤務の是正</p> <p>イ 不祥事防止</p>	<p>ア 分掌業務及び教員配置の見直しが必要である。</p> <p>イ 面談や通知の周知などにより意識向上が見られる。</p>

## イ 学校関係者評価結果等（自己評価結果に対する評価）

1 規範意識、人権感覚の向上	アンケートによるいじめの未然防止、早期発見の取組はたいへん良い。より充実できるよう努めてほしい。
2 授業改善の推進	一斉授業以外の授業形態の研究・実践が進んでいる。中学校でも授業改善を進めており、中高接続がうまくいくようにしたい。
3 キャリア教育の推進	商業科のインターンシップは軌道に乗っているようだが、普通科のインターンシップがもう少し進展する方策を考え、実施することが必要である。
4 学校行事、部活動等の充実	碧高祭にはエネルギーを感じる。部活動も成果が出ている。是非継続していただきたい。中学校への良いお手本となっている。
5 開かれた学校づくり	Kプロジェクトをはじめとし、地域とのつながりが良い方向に出ている。今後は一層一般の地域の人とも触れ合える活動をしてほしい。普通科を特徴付けるものがほしい。
6 笑顔溢れる学校づくり	特に評価はなし。来年度に向け、資料提示の仕方を工夫する必要がある。例えば、在校時間80時間超の職員数の推移を示すものなど。
7 その他	ふれんどバス延伸は良い面もあれば心配な面もある。碧南市・西尾市両市にとって良い方向となることを望む。